

夢、私たちに。 わたしのひとこと



運動会にて

堀ノ内 津滝 晃憲

娘の小学校、幼稚園の運動会に行ってきました。先生方の指導、お手伝いの父兄の方々の協力のおかげで、素晴らしい運動会になりました。どの種目も、皆が一生懸命に取り組んでいるのは微笑ましく、特に感動的なのは組み体操でした。年長の園児、高学年の児童の糸乱れぬ隊列から繰り出される技は日頃の練習の成果が見られ、次々と難易度の高い演技を披露していきます。小学校のハイライトのピラミッドではなんと5段！土台の子は重さに耐え、上の子は恐怖と闘いながら立ち上がらなくてはなりません。何度か失敗が続ぎ、皆が声援を送っています。時間が迫っており、最後のTRY、ついに成功しました！

皆で力を合わせる事、最後まで決してあきらめない事、子供たちから改めて教わった気がします。



和太鼓の響き

切久保 高杉 和則

10年くらい前、知人に誘われ和太鼓を始めた。最初は、若い人達や女性も大勢いて、地域に根ざした会にしようと発足したが、今は数人になってしまった。年に数回、祭りやイベントで披露する機会をいただいているが、なかなか上達しない。

太鼓の響きは、人間の鼓動の音に通じると言われているが、打っていると無心になれるし、仲間との一体感を感じる。めまぐるしい世の中の移り変わりのなかで、単純な太鼓の音は、人と人とのつながりを感じさせてくれる。昔から祭りに太鼓はつきもので、その他、その他の鎮守の杜からその音は聞こえていたものだ。自然に対する感謝の気持ちを表わすのも、畏怖の念を表わすのも太鼓の音だ。もっと多くの人に太鼓を打つ楽しさや魅力を知ってもらい、人と人をつなぎ、自然の恵みに喜びを表わせるような、そんな音を響かせたいと思っている。



文化・伝統を後世に

八方 丸山 柳子

先日、八方例大祭が行われました。私は初めて神社の中に入り、神事をひと通り経験する事が出来ました。笛の音、太鼓の音、そして舞いと少し現実離れた世界に触れ、何ともいえない感動を覚えました。

文化、伝統など頭でわかっていたつもりでも、実際に体験する事によって、この行事が次の世代へと受け継がれる事を願わずにはいられませんでした。

毎日の生活の中では、日々の事に追われ年間行事など、ちょっと面倒と思う事も正直あります。でも、毎年行事を繰り返す義父義母の姿を見て教えられ、自分も又いつか続けていかなければと感じています。

何よりも、繰り返す事が出来る現在の平和が素晴らしい事です。

不安な事が多い日々でも、皆が一同に集まり、お祭りが盛大に執り行われる事に感謝しつつ、自分がこれから先どのように生きて行くのか考えさせられた一日でした。

編集後記

8月、約半世紀に及ぶ自民党支配が終焉を迎え新権が誕生しました。国民は漸く重い腰を上げて交代を求めたのです。それは長期化した政治が余りにも世の中と掛け離れてしまった結果でもあります。万物、変化への対応を求められていきます。人が常に新しい空気が必要とするように、世の中もまた常に新しい風を必要としています。一人一人の「小さな力」が国を変えたことは、私たちにあって「大きな収穫」です。いつでも変えることができることを学んだのですから。

渡辺俊夫記

議会報調査編集

議長	下川 正剛
委員長	田中 榮一
副委員長	渡辺 俊夫
委員	横田 孝穂
委員	太田 伸子
委員	太田 英修
委員	小林 正治
委員	太谷 正治

特別委員会

白馬議会だより 90号
平成21年10月31日発行

発行 長野県白馬村議会
編集 議会報調査編集特別委員会
印刷 旬北辰印刷

〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村
☎0261-72-5000 FAX0261-72-7001
http://gyosei.vill.hakubanagano.jp/gikai/ E-mail gikai@vill.hakubanagano.jp